

# 心臓CT検査を受けられる方への説明書

## ◎ 心臓CT検査を受ける上での注意事項

1. 食事について・・・
  - ・当日の朝9時30分までに済ませてください。
  - ・検査後の造影剤の排出を順調にするために前もって水分を摂取しておく事が望ましいです。ご自宅でも普段どおり水分を取ってください。
2. 薬を飲んでいる方はお飲みください。また、検査のときにお薬手帳を持ってきてください。ただし、以下の薬を服用している方は休薬をお願いいたします。
  - ・ED薬(バイアグラ・レトピラ・シアリス)は前日より休薬。
  - ・糖尿病治療薬のうち、ピグアナイド系の糖尿病薬  
→ 造影CT検査前48時間、検査当日及び検査後48時間(計5日間)は休薬。
3. 造影剤を使用する検査です。【造影検査を受けられる方へ】を読んでいただき、造影剤についてご理解をお願いいたします。

## ◎ 検査の流れ

- ・CT室に入る前に以下のことを行います。
  - ① 血圧と脈拍を測り、心電図をつけます。
  - ② 造影剤注入用の点滴をします。  
血圧が正常で、脈拍が安定している患者様はCT室に移動して検査を行います。
- ・血圧と脈拍を測った後に、下記の患者様には、※セロケン(高血圧・狭心症・不整脈治療剤)という薬を服用して頂きます。

☆ 脈拍が速い

☆ 不整脈が続けておきる

### ※セロケンの効果

- ・心臓の機能抑えて脈拍を遅くします。
- ・心筋の異常な収縮を抑え不整脈の発生を抑えます。
- ・心臓から送り出す血液の量を減らして血圧を下げます。

- ・セロケンを服用して頂き、60分安静にして頂きます。その間何度か脈拍を測ります。60分安静後、再度脈拍を測り、脈拍が安定していれば検査を行います。
- ・脈拍が安定しない場合は、さらに30分安静にして頂き、検査を行います。  
ただし、それでも脈拍が安定しない場合は、医師の判断で※コアベータという薬剤を投与し、脈拍を下げて検査を行います。

### ※コアベータの効果

- ・高心拍数時の心拍数を減少させ、CTによる冠動脈造影における冠動脈描出能を改善させます。

## 【おねがい】

- ※ 脈拍が速い患者様は、脈拍が安定するまで時間がかかる為に、検査終了までに最大で2時間程度かかることがあります。
- ※ 脈拍が速く安定しない ・ 不整脈が続けておきる ・ 呼吸を12秒程度しっかり止められないなどの患者様には、正確な診断が出来ない為、検査を中止させて頂く場合があります。
- ※ 脈拍が安定している患者様より順に検査を施行させて頂いております。  
そのため、患者様の状態により後から来た患者様を、先に検査する場合がございます。